

工事積算基準等の運用 参考歩掛

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成17年9月29日付け事調第589号農政部長通知)の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和5年12月19日以降	令和6年2月21日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																														
<p>参考歩掛</p> <p>E ~ 2340 高密度ポリエチレン管機械布設</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 単価表</p> <p>(1) 高密度ポリエチレン管機械布設 100m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高密度ポリエチレン管</td> <td>管 mm</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3-1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型) 運転</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m³(平積0.35m³)吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="3">標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m³(平積0.35m³)吊能力2.9t</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>L</td> <td>28</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃料 供用日</td> <td></td> <td>1.33</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	高密度ポリエチレン管	管 mm	m	100		土木一般世話役		人		表3-1	特殊作業員		"		"	普通作業員		"		"	バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	日		"	計					機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	運転手(特殊)	人	1.00		軽油	L	28		賃料 供用日		1.33		<p>参考歩掛</p> <p>E ~ 2340 高密度ポリエチレン管機械布設</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 単価表</p> <p>(1) 高密度ポリエチレン管機械布設 100m当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高密度ポリエチレン管</td> <td>管 mm</td> <td>m</td> <td>100</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土木一般世話役</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表3-1</td> </tr> <tr> <td>特殊作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>"</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>バックホウ (クローラ型) 運転</td> <td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m³(平積0.35m³)吊能力2.9t</td> <td>日</td> <td></td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="3">標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m³(平積0.35m³)吊能力2.9t</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽油</td> <td>L</td> <td>30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃料 供用日</td> <td></td> <td>1.33</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	高密度ポリエチレン管	管 mm	m	100		土木一般世話役		人		表3-1	特殊作業員		"		"	普通作業員		"		"	バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	日		"	計					機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	運転手(特殊)	人	1.00		軽油	L	30		賃料 供用日		1.33		<p>表内、数値の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																												
高密度ポリエチレン管	管 mm	m	100																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3-1																																																																																																												
特殊作業員		"		"																																																																																																												
普通作業員		"		"																																																																																																												
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	日		"																																																																																																												
計																																																																																																																
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																																											
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	運転手(特殊)	人	1.00																																																																																																												
		軽油	L	28																																																																																																												
		賃料 供用日		1.33																																																																																																												
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																												
高密度ポリエチレン管	管 mm	m	100																																																																																																													
土木一般世話役		人		表3-1																																																																																																												
特殊作業員		"		"																																																																																																												
普通作業員		"		"																																																																																																												
バックホウ (クローラ型) 運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	日		"																																																																																																												
計																																																																																																																
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																																											
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)クレーン機能付 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)吊能力2.9t	運転手(特殊)	人	1.00																																																																																																												
		軽油	L	30																																																																																																												
		賃料 供用日		1.33																																																																																																												

新 旧 対 照 表

改 正						現 行						備 考
E ~ 3120 営農用水管路機械掘削 (道路部)						E ~ 3120 営農用水管路機械掘削 (道路部)						表内、数値の改正
1 適用範囲 【省略】						1 適用範囲 【省略】						
4 単価表 (1) 機械運転単価表 <p style="text-align: right;">(日当り)</p>						4 単価表 (1) 機械運転単価表 <p style="text-align: right;">(日当り)</p>						
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0		バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0		表内、数値の改正
		軽 油	L	37	5.9L/h × T			軽 油	L	40	6.3L/h × T	
		賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)			賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)	
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.00		バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.00		表内、数値の改正
		軽 油	L	54	8.6L/h × T			軽 油	L	58	9.2L/h × T	
		賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)			賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																
<p>E ~ 3130 営農用水管路機械埋戻 (道路部)</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 単価表</p> <p>(1) 最大埋戻幅 4m以上 100 m³当り単価表</p> <p>【省略】</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: right;">(日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="3">後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³(平積 0.2 m³)</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>37</td> <td>5.9L/h×T</td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.64</td> <td>建設機械等損料表 (5)/(4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振動ローラ</td> <td rowspan="3">ハンドガイド式 0.8~1.1 t</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>6.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.44</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タ ン パ</td> <td rowspan="3">60~80 kg</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガ ソ リ ン</td> <td>L</td> <td>6.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.38</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0		軽 油	L	37	5.9L/h×T	賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1 t	特殊作業員	人	1.0		軽 油	L	6.8		賃 料	供用日	1.44		タ ン パ	60~80 kg	特殊作業員	人	1.0		ガ ソ リ ン	L	6.0		賃 料	供用日	1.38		<p>E ~ 3130 営農用水管路機械埋戻 (道路部)</p> <p>1 適用範囲</p> <p>【省略】</p> <p>4 単価表</p> <p>(1) 最大埋戻幅 4m以上 100 m³当り単価表</p> <p>【省略】</p> <p>(4) 機械運転単価表</p> <p style="text-align: right;">(日当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バックホウ (クローラ型)</td> <td rowspan="3">後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m³(平積 0.2 m³)</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>40</td> <td>6.3L/h×T</td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.64</td> <td>建設機械等損料表 (5)/(4)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振動ローラ</td> <td rowspan="3">ハンドガイド式 0.8~1.1 t</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>5.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.44</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">タ ン パ</td> <td rowspan="3">60~80 kg</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガ ソ リ ン</td> <td>L</td> <td>4.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.38</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0		軽 油	L	40	6.3L/h×T	賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)	振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1 t	特殊作業員	人	1.0		軽 油	L	5.2		賃 料	供用日	1.44		タ ン パ	60~80 kg	特殊作業員	人	1.0		ガ ソ リ ン	L	4.5		賃 料	供用日	1.38		<p>表内、数値の改正</p>
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0																																																																																														
		軽 油	L	37	5.9L/h×T																																																																																													
		賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)																																																																																													
振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1 t	特殊作業員	人	1.0																																																																																														
		軽 油	L	6.8																																																																																														
		賃 料	供用日	1.44																																																																																														
タ ン パ	60~80 kg	特殊作業員	人	1.0																																																																																														
		ガ ソ リ ン	L	6.0																																																																																														
		賃 料	供用日	1.38																																																																																														
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																													
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス 対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 m ³ (平積 0.2 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.0																																																																																														
		軽 油	L	40	6.3L/h×T																																																																																													
		賃 料	供用日	1.64	建設機械等損料表 (5)/(4)																																																																																													
振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1 t	特殊作業員	人	1.0																																																																																														
		軽 油	L	5.2																																																																																														
		賃 料	供用日	1.44																																																																																														
タ ン パ	60~80 kg	特殊作業員	人	1.0																																																																																														
		ガ ソ リ ン	L	4.5																																																																																														
		賃 料	供用日	1.38																																																																																														

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																
<p>F ~ 5000 小水路掘削工 (バックホウ専用バケット)</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>5 単価表 (1) 附帯明渠掘削 100 m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型</td> <td>標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)(専用バケット装着) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 4 - 1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型</td> <td rowspan="3">標準型・排出ガス対策型 (第2次 基準値) (専用バケット装着) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>34</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)(専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日		表 4 - 1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	"	計					機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次 基準値) (専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.00		軽 油	L	34		賃 料	供用日	1.10		<p>F ~ 5000 小水路掘削工 (バックホウ専用バケット)</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>5 単価表 (1) 附帯明渠掘削 100 m³当り単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型</td> <td>標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)(専用バケット装着) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>日</td> <td></td> <td>表 4 - 1 機械賃料</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型</td> <td rowspan="3">標準型・排出ガス対策型 (第2次 基準値) (専用バケット装着) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td>42</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)(専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日		表 4 - 1 機械賃料	諸 雑 費		式	1	"	計					機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次 基準値) (専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.00		軽 油	L	42		賃 料	供用日	1.10		<p>表内、数値の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)(専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日		表 4 - 1 機械賃料																																																																														
諸 雑 費		式	1	"																																																																														
計																																																																																		
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																													
バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次 基準値) (専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.00																																																																														
		軽 油	L	34																																																																														
		賃 料	供用日	1.10																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																														
バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値)(専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	日		表 4 - 1 機械賃料																																																																														
諸 雑 費		式	1	"																																																																														
計																																																																																		
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																													
バ ッ ク ホ ウ ク ロ ー ラ 型	標準型・排出ガス対策型 (第2次 基準値) (専用バケット装着) 山積 0.45 m ³ (平積 0.35 m ³)	運転手 (特殊)	人	1.00																																																																														
		軽 油	L	42																																																																														
		賃 料	供用日	1.10																																																																														

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考		
I ~ 2410 コスト縮減改良型路上路盤再生工		I ~ 2410 コスト縮減改良型路上路盤再生工		表内、数値の改正		
1 適用範囲 【省略】		1 適用範囲 【省略】				
7 単価表 (1) コスト縮減改良型路上路盤再生工(1次施工)100㎡当り単価表 【省略】		7 単価表 (1) コスト縮減改良型路上路盤再生工(1次施工)100㎡当り単価表 【省略】				
(4) 機械運転単価表		(4) 機械運転単価表				
機械名	規 格	区 分	単 位		数 量	摘 要
スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	運転手(特殊)	人		1.00	
		軽 油	L		135	
		機 械 損 料	供用日		1.21	
乳 剤 スタビライザ	ローリ接続型 施工幅2.0m 切削深さ43cm	運転手(特殊)	人		1.00	
		軽 油	L		194	
		機 械 損 料	供用日	1.21		
フォームド スタビライザ	ローリ接続型 施工幅2.4m 切削深さ30cm	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	131		
		機 械 損 料	供用日	1.21		
モータグレーダ	土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)ブレード幅3.1m	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	46		
		機 械 損 料	供用日	1.47		
ロードローラ	マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)運転質量10~12t	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	32		
		機 械 損 料	供用日	1.59		
タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転質量8~20t	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	31		
		賃 料	供用日	1.62		
振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・排出ガス 対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	44		
		賃 料	供用日	1.75		
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	
スタビライザ	路盤再生用 処理深さ0.4m×幅2.0m	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	131		
		機 械 損 料	供用日	1.21		
乳 剤 スタビライザ	ローリ接続型 施工幅2.0m 切削深さ43cm	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	131		
		機 械 損 料	供用日	1.21		
フォームド スタビライザ	ローリ接続型 施工幅2.4m 切削深さ30cm	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	131		
		機 械 損 料	供用日	1.21		
モータグレーダ	土工用・排出ガス対策型(第1次基準値)ブレード幅3.1m	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	44		
		機 械 損 料	供用日	1.47		
ロードローラ	マカダム・排出ガス対策型(第1次基準値)運転質量10~12t	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	29		
		機 械 損 料	供用日	1.59		
タイヤローラ	普通型・排出ガス対策型(第1次基準値)運転質量8~20t	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	26		
		賃 料	供用日	1.62		
振動ローラ (舗装用)	搭乗・タンデム式・排出ガス 対策型(第1次基準値) 運転質量6~7.5t	運転手(特殊)	人	1.00		
		軽 油	L	40		
		賃 料	供用日	1.75		

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考																																																																																																																																				
I ~ 3010 アスファルト舗装工 (取付道路)		I ~ 3010 アスファルト舗装工 (取付道路)		表内、数値の改正																																																																																																																																				
1 適用範囲 【省略】		1 適用範囲 【省略】																																																																																																																																						
5 単価表 (1) アスファルト舗装工 (機械) 100 m ² ・1層当り単価表 【省略】		5 単価表 (1) アスファルト舗装工 (機械) 100 m ² ・1層当り単価表 【省略】																																																																																																																																						
(3) 機械運転単価表		(3) 機械運転単価表																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">アスファルト フィニッシャ</td> <td rowspan="2">クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>21</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 2.0~4.5m</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>35</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振 動 ロ ー ラ</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t</td> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>19</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1.75</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振 動 ロ ー ラ</td> <td rowspan="3">ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>2.3</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1.23</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振動コンパクト</td> <td rowspan="3">前進型 40~60 kg</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガ ソ リ ン</td> <td>L</td> <td><u>3.6</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1.40</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規 格	区 分		単 位	数 量	摘 要	アスファルト フィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	運転手(特殊)	人	1.00		軽 油	L	<u>21</u>		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 2.0~4.5m	運転手(特殊)	人	1.00		軽 油	L	<u>35</u>		振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	軽 油	L	<u>19</u>		機 械 損 料	供用日	1.75		賃 料	供用日	1.50		振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	特殊作業員	人	1.00		軽 油	L	<u>2.3</u>		機 械 損 料	供用日	1.23		振動コンパクト	前進型 40~60 kg	特殊作業員	人	1.00		ガ ソ リ ン	L	<u>3.6</u>		機 械 損 料	供用日	1.40		<table border="1"> <thead> <tr> <th>機械名</th> <th>規 格</th> <th>区 分</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">アスファルト フィニッシャ</td> <td rowspan="2">クローラ型 1.4~3.0m</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>20</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 2.0~4.5m</td> <td>運転手(特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>34</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振 動 ロ ー ラ</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t</td> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>16</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1.75</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.50</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振 動 ロ ー ラ</td> <td rowspan="3">ハンドガイド式 0.5~0.6 t</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td><u>2</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1.23</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">振動コンパクト</td> <td rowspan="3">前進型 40~60 kg</td> <td>特殊作業員</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガ ソ リ ン</td> <td>L</td> <td><u>3</u></td> <td></td> </tr> <tr> <td>機 械 損 料</td> <td>供用日</td> <td>1.40</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	アスファルト フィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	運転手(特殊)	人	1.00		軽 油	L	<u>20</u>		排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 2.0~4.5m	運転手(特殊)	人	1.00		軽 油	L	<u>34</u>		振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	軽 油	L	<u>16</u>		機 械 損 料	供用日	1.75		賃 料	供用日	1.50		振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	特殊作業員	人	1.00		軽 油	L	<u>2</u>		機 械 損 料	供用日	1.23		振動コンパクト	前進型 40~60 kg	特殊作業員	人	1.00		ガ ソ リ ン	L	<u>3</u>		機 械 損 料	供用日	1.40	
機械名	規 格	区 分	単 位		数 量	摘 要																																																																																																																																		
アスファルト フィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	運転手(特殊)	人		1.00																																																																																																																																			
		軽 油	L		<u>21</u>																																																																																																																																			
	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 2.0~4.5m	運転手(特殊)	人		1.00																																																																																																																																			
		軽 油	L		<u>35</u>																																																																																																																																			
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	軽 油	L	<u>19</u>																																																																																																																																				
		機 械 損 料	供用日	1.75																																																																																																																																				
		賃 料	供用日	1.50																																																																																																																																				
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	特殊作業員	人	1.00																																																																																																																																				
		軽 油	L	<u>2.3</u>																																																																																																																																				
		機 械 損 料	供用日	1.23																																																																																																																																				
振動コンパクト	前進型 40~60 kg	特殊作業員	人	1.00																																																																																																																																				
		ガ ソ リ ン	L	<u>3.6</u>																																																																																																																																				
		機 械 損 料	供用日	1.40																																																																																																																																				
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																			
アスファルト フィニッシャ	クローラ型 1.4~3.0m	運転手(特殊)	人	1.00																																																																																																																																				
		軽 油	L	<u>20</u>																																																																																																																																				
	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型 2.0~4.5m	運転手(特殊)	人	1.00																																																																																																																																				
		軽 油	L	<u>34</u>																																																																																																																																				
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	軽 油	L	<u>16</u>																																																																																																																																				
		機 械 損 料	供用日	1.75																																																																																																																																				
		賃 料	供用日	1.50																																																																																																																																				
振 動 ロ ー ラ	ハンドガイド式 0.5~0.6 t	特殊作業員	人	1.00																																																																																																																																				
		軽 油	L	<u>2</u>																																																																																																																																				
		機 械 損 料	供用日	1.23																																																																																																																																				
振動コンパクト	前進型 40~60 kg	特殊作業員	人	1.00																																																																																																																																				
		ガ ソ リ ン	L	<u>3</u>																																																																																																																																				
		機 械 損 料	供用日	1.40																																																																																																																																				
【省略】		【省略】																																																																																																																																						

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																												
<p>M ~ 1990 基盤整地 (簡易整地)</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>5 単価表 (1) 基盤整地 (簡易整地) 100 m³当り単価表</p> <p style="text-align: center;">表 5 - 1 基盤整地 (簡易整地) 歩掛 (100 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級</td> <td>日</td> <td></td> <td>機械賃料</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機械名</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ブルドーザ</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td style="color: red;">47</td> <td>T × 8.9 (L/h)</td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.75</td> <td>建設機械等損料表 (5)/(4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	日		機械賃料	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	運転手 (特殊)	人	1.00		軽 油	L	47	T × 8.9 (L/h)	賃 料	供用日	1.75	建設機械等損料表 (5)/(4)	<p>M ~ 1990 基盤整地 (簡易整地)</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>5 単価表 (1) 基盤整地 (簡易整地) 100 m³当り単価表</p> <p style="text-align: center;">表 5 - 1 基盤整地 (簡易整地) 歩掛 (100 m³当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">名 称</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルドーザ</td> <td>排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級</td> <td>日</td> <td></td> <td>機械賃料</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 機械運転単価表</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">機械名</th> <th style="width: 35%;">規 格</th> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 10%;">数 量</th> <th style="width: 30%;">摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ブルドーザ</td> <td rowspan="3">排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級</td> <td>運転手 (特殊)</td> <td>人</td> <td>1.00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td style="color: red;">50</td> <td>T × 9.5 (L/h)</td> </tr> <tr> <td>賃 料</td> <td>供用日</td> <td>1.75</td> <td>建設機械等損料表 (5)/(4)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	日		機械賃料	機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要	ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	運転手 (特殊)	人	1.00		軽 油	L	50	T × 9.5 (L/h)	賃 料	供用日	1.75	建設機械等損料表 (5)/(4)	<p>表内、数値の改正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	日		機械賃料																																																										
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																									
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	運転手 (特殊)	人	1.00																																																										
		軽 油	L	47	T × 8.9 (L/h)																																																									
		賃 料	供用日	1.75	建設機械等損料表 (5)/(4)																																																									
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																										
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	日		機械賃料																																																										
機械名	規 格	区 分	単 位	数 量	摘 要																																																									
ブルドーザ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 湿地7t級	運転手 (特殊)	人	1.00																																																										
		軽 油	L	50	T × 9.5 (L/h)																																																									
		賃 料	供用日	1.75	建設機械等損料表 (5)/(4)																																																									

工事積算基準等の運用

土地改良事業等工事積算基準等の運用

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成17年9月29日付け事調第589号農政部長通知)の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和5年12月19日以降	令和6年2月21日以降

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																														
<p>土地改良事業等工事積算基準等の運用</p> <p>3 土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準の運用事項</p> <p>第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費及び営繕費等の積算方法</p> <p>1 共通仮設費率の算定</p> <p>【省略】</p> <p>3 積上げ計算による算定</p> <p>重建設機械の運搬費</p> <p>【省略】</p> <p>別表1 営繕費</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>営繕費の積み上げ計算方法を示されたい。</p> </div> <p>火薬類を使用する工事においては、下記により火薬庫類に要する費用を計上するものとする。</p> <p>1 火薬庫等の積算</p> <p>現場条件に応じて火薬類を多量に使用する場合の火薬庫等の設置は、火薬類取締法施工規則等により規定されており、火薬庫類の経費の積算に当たっては下記を参考に計上するものとする。</p> <p>なお、実施においても上記規則の趣旨を生かすよう配慮するものとする。</p> <p>火薬庫について</p> <p>【省略】</p> <p>積算方法</p> <p>ア 火薬庫類</p> <p>(ア) 火薬庫類の計上区分</p> <p>【省略】</p> <p>(イ) 火薬庫類の営繕損料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">1 現場当り火薬庫類損料</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">火薬庫类等</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">損料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">火 薬 庫</td> <td>2級火薬庫 鋼製移動式 2t庫 5.0㎡</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">土地改良事業等単価表による</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火 工 品 庫</td> <td>鋼製移動式 1t庫 3.2㎡</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 扱 所</td> <td>鋼製移動式 3.2㎡</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火 工 所</td> <td>組立テント式 1.9㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 現場当りの使用期間が2年を超える場合は下記のとおりとする。</p> <p>a 2年を超え4年以下の場合は、上表損料の40%増とする。</p> <p>b 4年を超える場合は、火薬庫類の耐用年数を考慮して別途積算する。</p> <p>(注2) 火薬庫、火工品庫には、立入り防止柵、警報装置、避雷装置等を含む。</p> <p>【省略】</p>	1 現場当り火薬庫類損料			火薬庫类等	規 格	損料(円)	火 薬 庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t庫 5.0㎡	土地改良事業等単価表による	火 工 品 庫	鋼製移動式 1t庫 3.2㎡	取 扱 所	鋼製移動式 3.2㎡	火 工 所	組立テント式 1.9㎡	<p>土地改良事業等工事積算基準等の運用</p> <p>3 土地改良事業等請負工事の共通仮設費算定基準の運用事項</p> <p>第3 運搬費、準備費、安全費、役務費、技術管理費及び営繕費等の積算方法</p> <p>1 共通仮設費率の算定</p> <p>【省略】</p> <p>3 積上げ計算による算定</p> <p>重建設機械の運搬費</p> <p>【省略】</p> <p>別表1 営繕費</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>営繕費の積み上げ計算方法を示されたい。</p> </div> <p>火薬類を使用する工事においては、下記により火薬庫類に要する費用を計上するものとする。</p> <p>1 火薬庫等の積算</p> <p>現場条件に応じて火薬類を多量に使用する場合の火薬庫等の設置は、火薬類取締法施工規則等により規定されており、火薬庫類の経費の積算に当たっては下記を参考に計上するものとする。</p> <p>なお、実施においても上記規則の趣旨を生かすよう配慮するものとする。</p> <p>火薬庫について</p> <p>【省略】</p> <p>積算方法</p> <p>ア 火薬庫類</p> <p>(ア) 火薬庫類の計上区分</p> <p>【省略】</p> <p>(イ) 火薬庫類の営繕損料</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="text-align: center;">1 現場当り火薬庫類損料</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">火薬庫类等</th> <th style="text-align: center;">規 格</th> <th style="text-align: center;">損料(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">火 薬 庫</td> <td>2級火薬庫 鋼製移動式 2t庫 5.0㎡</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">土地改良事業等単価表による</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火 工 品 庫</td> <td>鋼製移動式 1t庫 3.2㎡</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">取 扱 所</td> <td>鋼製移動式 3.2㎡</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">火 工 所</td> <td>組立テント式 1.9㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 現場当りの使用期間が2年を超える場合は下記のとおりとする。</p> <p>a 2~4年の場合は、上表損料の40%増とする。</p> <p>b 4年を超える場合は、火薬庫類の耐用年数を考慮して別途積算する。</p> <p>(注2) 火薬庫、火工品庫には、立入り防止柵、警報装置、避雷装置等を含む。</p> <p>【省略】</p>	1 現場当り火薬庫類損料			火薬庫类等	規 格	損料(円)	火 薬 庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t庫 5.0㎡	土地改良事業等単価表による	火 工 品 庫	鋼製移動式 1t庫 3.2㎡	取 扱 所	鋼製移動式 3.2㎡	火 工 所	組立テント式 1.9㎡	<p>字句の改正</p>
1 現場当り火薬庫類損料																																
火薬庫类等	規 格	損料(円)																														
火 薬 庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t庫 5.0㎡	土地改良事業等単価表による																														
火 工 品 庫	鋼製移動式 1t庫 3.2㎡																															
取 扱 所	鋼製移動式 3.2㎡																															
火 工 所	組立テント式 1.9㎡																															
1 現場当り火薬庫類損料																																
火薬庫类等	規 格	損料(円)																														
火 薬 庫	2級火薬庫 鋼製移動式 2t庫 5.0㎡	土地改良事業等単価表による																														
火 工 品 庫	鋼製移動式 1t庫 3.2㎡																															
取 扱 所	鋼製移動式 3.2㎡																															
火 工 所	組立テント式 1.9㎡																															

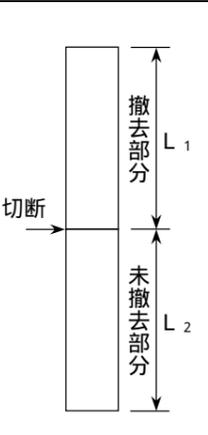
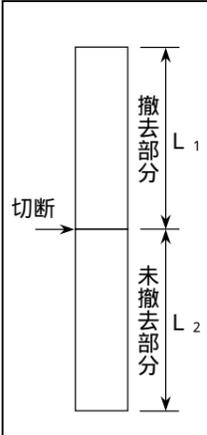
新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>7 土地改良事業等機械経費積算要領の運用事項</p> <p>(目的) 【省略】</p> <p>(機械損料の補正) 豪雪補正</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豪雪地域の補正はどのような場合にどのように行うか具体例を示し説明されたい。</div> <p>(1) 対象地域の適用 【省略】</p> <p>(3) 豪雪地域の補正は下記を基準として行う。 運転時間単位で算定されている機械 (<u>建設機械等損料算定表</u>) 運転1時間当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1時間当り損料(9欄)} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数} \div \text{供用日当り運転時間(t)}$ $\text{供用日当り運転時間(t)} = \text{運転時間(3欄)} \div \text{供用日数(5欄)}$ 運転1日当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1時間当り損料(9欄)} \times \text{供用日当り運転時間(t)} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数}$ 運転日単位で算定されている機械 (<u>建設機械等損料算定表</u>) 運転1日当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1日当り損料(9欄)} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数} \div \text{運転日数率()}$ 供用1日当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1日当り損料(9欄)} \times \text{運転日数率()} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数}$ $\text{運転日数率()} = \text{運転日数(4欄)} \div \text{供用日数(5欄)}$ 供用日単位で算定されている機械 (<u>建設機械等損料算定表</u>) 供用1日当り損料額(指定地域損料) = 供用日当り損料(11欄) × 補正係数 【省略】</p>	<p>7 土地改良事業等機械経費積算要領の運用事項</p> <p>(目的) 【省略】</p> <p>(機械損料の補正) 豪雪補正</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豪雪地域の補正はどのような場合にどのように行うか具体例を示し説明されたい。</div> <p>(1) 対象地域の適用 【省略】</p> <p>(3) 豪雪地域の補正は下記を基準として行う。 運転時間単位で算定されている機械 _____ 運転1時間当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1時間当り損料(9欄)} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数} \div \text{供用日当り運転時間(t)}$ $\text{供用日当り運転時間(t)} = \text{運転時間(3欄)} \div \text{供用日数(5欄)}$ 運転1日当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1時間当り損料(9欄)} \times \text{供用日当り運転時間(t)} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数}$ 運転日単位で算定されている機械 _____ 運転1日当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1日当り損料(9欄)} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数} \div \text{運転日数率()}$ 供用1日当り損料額(指定地域損料) = $\text{運転1日当り損料(9欄)} \times \text{運転日数率()} + \text{供用日当り損料(11欄)} \times \text{補正係数}$ $\text{運転日数率()} = \text{運転日数(4欄)} \div \text{供用日数(5欄)}$ 供用日単位で算定されている機械 _____ 供用1日当り損料額(指定地域損料) = 供用日当り損料(11欄) × 補正係数 【省略】</p>	<p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正		現 行								備 考																																																																																																																																																																																																					
8 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準の運用事項 (仮設材損料の積算) 損耗率 コルゲートパイプ等を仮設資材として使用する場合の損耗率を示されたい。		8 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準の運用事項 (仮設材損料の積算) 損耗率 コルゲートパイプ等を仮設資材として使用する場合の損耗率を示されたい。								表内、数値の改正																																																																																																																																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">仮設名</th> <th rowspan="2">仮設材名</th> <th colspan="6">設置期間別1現場当たり損耗率(%)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>1ヶ月未満</th> <th>3ヶ月未満</th> <th>6ヶ月未満</th> <th>1年未満</th> <th>2年未満</th> <th>3年未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土留め 仮締切・仮橋 足場・支保 防護柵等</td> <td>木材</td> <td>15</td> <td>25</td> <td>40</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>A条件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>60</td> <td>60</td> <td>70</td> <td>90</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>B条件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>50</td> <td>70</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">給排水 仮廻し 水路等</td> <td>合成樹脂管・ホース</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>65</td> <td>75</td> <td>85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管・ガス管</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製コルゲートパイプ</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>65</td> <td>75</td> <td>85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート管</td> <td colspan="6">50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シート</td> <td colspan="6">100</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保安施設等</td> <td>シート</td> <td colspan="6">30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロープ</td> <td colspan="6">20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		仮設名	仮設材名	設置期間別1現場当たり損耗率(%)							摘 要	1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	2年未満	3年未満	土留め 仮締切・仮橋 足場・支保 防護柵等	木材	15	25	40	50	75	100	A条件		60	60	70	90	100	100	B条件		鋼材	10	10	20	30	50	70		給排水 仮廻し 水路等	合成樹脂管・ホース	30	45	55	65	75	85		鋼管・ガス管	10	10	20	30	-	-		鋼製コルゲートパイプ	30	45	55	65	75	85		コンクリート管	50							シート	100							保安施設等	シート	30							ロープ	20							<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">仮設名</th> <th rowspan="2">仮設材名</th> <th colspan="6">設置期間別1現場当たり損耗率(%)</th> <th rowspan="2">摘 要</th> </tr> <tr> <th>1ヶ月未満</th> <th>3ヶ月未満</th> <th>6ヶ月未満</th> <th>1年未満</th> <th>2年未満</th> <th>3年未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">土留め 仮締切・仮橋 足場・支保 防護柵等</td> <td>木材</td> <td>15</td> <td>25</td> <td>40</td> <td>50</td> <td>75</td> <td>100</td> <td>A条件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50</td> <td>65</td> <td>80</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>B条件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼材</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>50</td> <td>70</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">給排水 仮廻し 水路等</td> <td>合成樹脂管・ホース</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>65</td> <td>75</td> <td>85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼管・ガス管</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鋼製コルゲートパイプ</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>55</td> <td>65</td> <td>75</td> <td>85</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート管</td> <td colspan="6">50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シート</td> <td colspan="6">100</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">保安施設等</td> <td>シート</td> <td colspan="6">30</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロープ</td> <td colspan="6">20</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								仮設名	仮設材名	設置期間別1現場当たり損耗率(%)						摘 要	1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	2年未満	3年未満	土留め 仮締切・仮橋 足場・支保 防護柵等	木材	15	25	40	50	75	100	A条件		50	65	80	100	100	100	B条件		鋼材	10	10	20	30	50	70		給排水 仮廻し 水路等	合成樹脂管・ホース	30	45	55	65	75	85		鋼管・ガス管	10	10	20	30	-	-		鋼製コルゲートパイプ	30	45	55	65	75	85		コンクリート管	50							シート	100							保安施設等	シート	30							ロープ	20					
仮設名	仮設材名			設置期間別1現場当たり損耗率(%)						摘 要																																																																																																																																																																																																					
		1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	2年未満	3年未満																																																																																																																																																																																																								
土留め 仮締切・仮橋 足場・支保 防護柵等	木材	15	25	40	50	75	100	A条件																																																																																																																																																																																																							
		60	60	70	90	100	100	B条件																																																																																																																																																																																																							
	鋼材	10	10	20	30	50	70																																																																																																																																																																																																								
給排水 仮廻し 水路等	合成樹脂管・ホース	30	45	55	65	75	85																																																																																																																																																																																																								
	鋼管・ガス管	10	10	20	30	-	-																																																																																																																																																																																																								
	鋼製コルゲートパイプ	30	45	55	65	75	85																																																																																																																																																																																																								
	コンクリート管	50																																																																																																																																																																																																													
	シート	100																																																																																																																																																																																																													
保安施設等	シート	30																																																																																																																																																																																																													
	ロープ	20																																																																																																																																																																																																													
仮設名	仮設材名	設置期間別1現場当たり損耗率(%)						摘 要																																																																																																																																																																																																							
		1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	2年未満	3年未満																																																																																																																																																																																																								
土留め 仮締切・仮橋 足場・支保 防護柵等	木材	15	25	40	50	75	100	A条件																																																																																																																																																																																																							
		50	65	80	100	100	100	B条件																																																																																																																																																																																																							
	鋼材	10	10	20	30	50	70																																																																																																																																																																																																								
給排水 仮廻し 水路等	合成樹脂管・ホース	30	45	55	65	75	85																																																																																																																																																																																																								
	鋼管・ガス管	10	10	20	30	-	-																																																																																																																																																																																																								
	鋼製コルゲートパイプ	30	45	55	65	75	85																																																																																																																																																																																																								
	コンクリート管	50																																																																																																																																																																																																													
	シート	100																																																																																																																																																																																																													
保安施設等	シート	30																																																																																																																																																																																																													
	ロープ	20																																																																																																																																																																																																													
<p>備考1 摘要欄のA条件、B条件の判定は次による。</p> <p>A条件：足場、支保、防護柵（岩砕の飛散を受けない）等、通常の条件で使用する場合。</p> <p>B条件：土留、仮締切、仮橋、防護柵（岩砕の飛散を受ける）等、過酷な条件下で使用する場合。</p> <p>2 木材で再使用不可能な場合、又は長さ2m未満の木材を使用する場合は、全損扱いで良い。</p> <p>3 土留等の仮設におけるボルト、カスガイ、釘、鉄線等は全損扱いで良い。</p> <p>4 タイロッドは1工事全損としスクラップ控除とする。</p> <p>5 合成樹脂管・ホースは、硬質ポリ塩化ビニル管・塩化ビニルホース・高密度ポリエチレン管を対象とする。</p> <p>6 上表は仮設材経費算定基準に示す資材以外に適用する。</p> <p>7 現場条件により、上表により難しい場合は別途積算するものとし、産業廃棄物処理等が必要な場合は別途計上すること。</p> <p>【省略】</p>		<p>備考1 摘要欄のA条件、B条件の判定は次による。</p> <p>A条件：足場、支保、防護柵（岩砕の飛散を受けない）等、通常の条件で使用する場合。</p> <p>B条件：土留、仮締切、仮橋、防護柵（岩砕の飛散を受ける）等、過酷な条件下で使用する場合。</p> <p>2 木材で再使用不可能な場合、又は長さ2m未満の木材を使用する場合は、全損扱いで良い。</p> <p>3 土留等の仮設におけるボルト、カスガイ、釘、鉄線等は全損扱いで良い。</p> <p>4 タイロッドは1工事全損としスクラップ控除とする。</p> <p>5 合成樹脂管・ホースは、硬質ポリ塩化ビニル管・塩化ビニルホース・高密度ポリエチレン管を対象とする。</p> <p>6 上表は仮設材経費算定基準に示す資材以外に適用する。</p> <p>7 現場条件により、上表により難しい場合は別途積算するものとし、産業廃棄物処理等が必要な場合は別途計上すること。</p> <p>【省略】</p>																																																																																																																																																																																																													

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																												
<p>(仮設材質料の補正)</p> <p>長期割引 【省略】</p> <p>スクラップ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 仮設用の鋼矢板・H形鋼を切断又は撤去しない場合の取り扱いはどうするのか。 </div> <p>建設用仮設材(賃料)を切断又は撤去しない場合の料金は以下のとおり行うものとする。ただし、以下により難しい場合は別途考慮するものとする。</p> <p style="text-align: center;">標準長さ及びスクラップ長さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>規 格</th> <th>標準長 (m)</th> <th>スクラップ長 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鋼矢板 〔本矢板〕</td> <td>2 型</td> <td>4 以上 ~ 8 以下</td> <td>4 未満</td> </tr> <tr> <td>3 型</td> <td>6 ~ 12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4 型</td> <td>9 ~ 16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>5 L 型</td> <td>10 ~ 18</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">H形鋼 〔杭 用〕</td> <td>H200 型</td> <td>4 ~ 8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H250 型</td> <td>6 ~ 12</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H300 型</td> <td>6 ~ 12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H350 型</td> <td>7 ~ 15</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H400 型</td> <td>7 ~ 16</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H594 型</td> <td>8 ~ 12</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 当初より撤去しない場合 (運搬費は計上しない) 【省略】</p> <p>4. 当初は撤去を考えていたが、現地の状況で1本ものうち、一部が撤去できなくなった場合 (新品でない場合)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">L₁ (撤去部分)</th> <th>L₁がスクラップ長 以上の場合</th> <td>賃料を計上する。 (賃料+修理費及び損耗費)×質量 基地との往復運搬費を計上する</td> </tr> <tr> <th>L₁がスクラップ長 未満の場合</th> <td>事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 90%には、スクラップ処理費を含む 基地からの片道運搬費を計上する</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">L₂ (未撤去部分)</th> <th>L₁がスクラップ長 以上の場合</th> <td>不足分弁償金を計上する。 (不足分弁償金(中古))×質量 基地からの片道運搬費を計上する</td> </tr> <tr> <th>L₁がスクラップ長 未満の場合</th> <td>事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)))×質量 基地からの片道運搬費を計上する</td> </tr> </thead> </table> </div> <p>【省略】</p>	品 名	規 格	標準長 (m)	スクラップ長 (m)	鋼矢板 〔本矢板〕	2 型	4 以上 ~ 8 以下	4 未満	3 型	6 ~ 12	5	4 型	9 ~ 16	8	5 L 型	10 ~ 18	9	H形鋼 〔杭 用〕	H200 型	4 ~ 8	4	H250 型	6 ~ 12	4	H300 型	6 ~ 12	5	H350 型	7 ~ 15	6	H400 型	7 ~ 16	6	H594 型	8 ~ 12	7	L ₁ (撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	賃料を計上する。 (賃料+修理費及び損耗費)×質量 基地との往復運搬費を計上する	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 90%には、スクラップ処理費を含む 基地からの片道運搬費を計上する	L ₂ (未撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	不足分弁償金を計上する。 (不足分弁償金(中古))×質量 基地からの片道運搬費を計上する	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)))×質量 基地からの片道運搬費を計上する	<p>(仮設材質料の補正)</p> <p>長期割引 【省略】</p> <p>スクラップ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 仮設用の鋼矢板・H形鋼を切断又は撤去しない場合の取り扱いはどうするのか。 </div> <p>建設用仮設材(賃料)を切断又は撤去しない場合の料金は以下のとおり行うものとする。ただし、以下により難しい場合は別途考慮するものとする。</p> <p style="text-align: center;">標準長さ及びスクラップ長さ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>品 名</th> <th>規 格</th> <th>標準長 (m)</th> <th>スクラップ長 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鋼矢板 〔本矢板〕</td> <td>2 型</td> <td>4 以上 ~ 8 以下</td> <td>4 未満</td> </tr> <tr> <td>3 型</td> <td>6 ~ 12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>4 型</td> <td>9 ~ 16</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>5 L 型</td> <td>10 ~ 18</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">H形鋼 〔杭 用〕</td> <td>H200 型</td> <td>4 ~ 8</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H250 型</td> <td>6 ~ 12</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>H300 型</td> <td>6 ~ 12</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>H350 型</td> <td>7 ~ 15</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H400 型</td> <td>7 ~ 16</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>H594 型</td> <td>8 ~ 12</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>1. 当初より撤去しない場合 (運搬費は計上しない) 【省略】</p> <p>4. 当初は撤去を考えていたが、現地の状況で1本ものうち、一部が撤去できなくなった場合 (新品でない場合)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">L₁ (撤去部分)</th> <th>L₁がスクラップ長 以上の場合</th> <td>賃料を計上する。 (賃料+修理費及び損耗費)×質量 基地との往復運搬費を計上する</td> </tr> <tr> <th>L₁がスクラップ長 未満の場合</th> <td>事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 90%には、スクラップ処理費を含む 基地からの片道運搬費を計上する</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">L₂ (未撤去部分)</th> <th>L₁がスクラップ長 以上の場合</th> <td>不足分弁償金を計上する。 (不足分弁償金(中古))×質量 基地からの片道運搬費を計上する</td> </tr> <tr> <th>L₁がスクラップ長 未満の場合</th> <td>事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 基地からの片道運搬費を計上する</td> </tr> </thead> </table> </div> <p>【省略】</p>	品 名	規 格	標準長 (m)	スクラップ長 (m)	鋼矢板 〔本矢板〕	2 型	4 以上 ~ 8 以下	4 未満	3 型	6 ~ 12	5	4 型	9 ~ 16	8	5 L 型	10 ~ 18	9	H形鋼 〔杭 用〕	H200 型	4 ~ 8	4	H250 型	6 ~ 12	4	H300 型	6 ~ 12	5	H350 型	7 ~ 15	6	H400 型	7 ~ 16	6	H594 型	8 ~ 12	7	L ₁ (撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	賃料を計上する。 (賃料+修理費及び損耗費)×質量 基地との往復運搬費を計上する	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 90%には、スクラップ処理費を含む 基地からの片道運搬費を計上する	L ₂ (未撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	不足分弁償金を計上する。 (不足分弁償金(中古))×質量 基地からの片道運搬費を計上する	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 基地からの片道運搬費を計上する	<p>表内、字句の削除</p>
品 名	規 格	標準長 (m)	スクラップ長 (m)																																																																																											
鋼矢板 〔本矢板〕	2 型	4 以上 ~ 8 以下	4 未満																																																																																											
	3 型	6 ~ 12	5																																																																																											
	4 型	9 ~ 16	8																																																																																											
	5 L 型	10 ~ 18	9																																																																																											
H形鋼 〔杭 用〕	H200 型	4 ~ 8	4																																																																																											
	H250 型	6 ~ 12	4																																																																																											
	H300 型	6 ~ 12	5																																																																																											
	H350 型	7 ~ 15	6																																																																																											
	H400 型	7 ~ 16	6																																																																																											
	H594 型	8 ~ 12	7																																																																																											
L ₁ (撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	賃料を計上する。 (賃料+修理費及び損耗費)×質量 基地との往復運搬費を計上する																																																																																												
	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 90%には、スクラップ処理費を含む 基地からの片道運搬費を計上する																																																																																												
L ₂ (未撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	不足分弁償金を計上する。 (不足分弁償金(中古))×質量 基地からの片道運搬費を計上する																																																																																												
	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)))×質量 基地からの片道運搬費を計上する																																																																																												
品 名	規 格	標準長 (m)	スクラップ長 (m)																																																																																											
鋼矢板 〔本矢板〕	2 型	4 以上 ~ 8 以下	4 未満																																																																																											
	3 型	6 ~ 12	5																																																																																											
	4 型	9 ~ 16	8																																																																																											
	5 L 型	10 ~ 18	9																																																																																											
H形鋼 〔杭 用〕	H200 型	4 ~ 8	4																																																																																											
	H250 型	6 ~ 12	4																																																																																											
	H300 型	6 ~ 12	5																																																																																											
	H350 型	7 ~ 15	6																																																																																											
	H400 型	7 ~ 16	6																																																																																											
	H594 型	8 ~ 12	7																																																																																											
L ₁ (撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	賃料を計上する。 (賃料+修理費及び損耗費)×質量 基地との往復運搬費を計上する																																																																																												
	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 90%には、スクラップ処理費を含む 基地からの片道運搬費を計上する																																																																																												
L ₂ (未撤去部分)	L ₁ がスクラップ長 以上の場合	不足分弁償金を計上する。 (不足分弁償金(中古))×質量 基地からの片道運搬費を計上する																																																																																												
	L ₁ がスクラップ長 未満の場合	事象発生時点までの賃料及び不足分弁償金を計上する。 (事象発生時点までの賃料+(不足分弁償金(中古)) ×90%)×質量 基地からの片道運搬費を計上する																																																																																												

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>9 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項</p> <p>〔全 般〕</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">労務単価の補正方法を示されたい。</p> <p>1 - 1 時間外や深夜作業を行う工事の積算</p> <p>【省略】</p> <p>3 冬期屋外工事の労務歩掛補正</p> <p>冬期屋外工事における作業中の採暖時間、降雪待ち時間の増加及び就業時間の減少による実作業時間の短縮等に対する歩掛を補正する場合は下記による。</p> <p>(1) 冬期屋外工事の歩掛補正は、10月1日以降に入札する工事で、工期が当該年度の3月31日までの期間にあって、かつ、11月1日から、3月31日までの期間が全工期日数の2分の1を超える屋外工事について補正の対象とする。</p> <p>ただし、下記工種等については適用しない。</p> <p>1) 主体工事がトンネル坑内作業のもの、工場製作、その他屋内作業と認められる工事</p> <p>2) 除雪、排雪、コンクリート防寒養生(ただし、コンクリート防寒囲い設置・撤去作業には適用する)、その他屋外作業であっても歩掛が冬期条件下で施工することが前提となっている工事</p> <p>3) 交通誘導警備員</p> <p>(2) 歩掛補正は、屋外労務作業に従事する作業員を対象に行うものとし、冬期の特殊現場条件に対し必要となるコンクリートの保温養生費、除排雪費等は、本補正とは別途に必要額を積算する。</p> <p>なお、機械作業には、<u>運転手の労務費についてのみ補正するものとする。</u></p> <p>【省略】</p> <p>(8) ゼロ国債工事については契約後すぐに現場施工ができる場合で、11月1日から、3月31日までの期間が全工期日数の2分の1を超える屋外工事について歩掛補正の対象とする。</p> <p><u>なお、2月、3月発注工事の着手は4月1日以降を基本とするが、契約後、すぐに着手し無ければならない場合は、3月までの作業について歩掛補正の対象とする。</u></p> <p><u>(例：工期が3月から5月までの場合は該当となる工種に対し、2%を補正する。)</u></p> <p>(9) 船舶における補正対象労務費は、休止分を除く。(休止分=供用係数-1)</p>	<p>9 土地改良事業等請負工事標準歩掛の運用事項</p> <p>〔全 般〕</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">労務単価の補正方法を示されたい。</p> <p>1 - 1 時間外や深夜作業を行う工事の積算</p> <p>【省略】</p> <p>3 冬期屋外工事の労務歩掛補正</p> <p>冬期屋外工事における作業中の採暖時間、降雪待ち時間の増加及び就業時間の減少による実作業時間の短縮等に対する歩掛を補正する場合は下記による。</p> <p>(1) 冬期屋外工事の歩掛補正は、10月1日以降に入札する工事で、工期が当該年度の3月31日までの期間にあって、かつ、11月1日から、3月31日までの期間が全工期日数の2分の1を超える屋外工事について補正の対象とする。</p> <p>ただし、下記工種等については適用しない。</p> <p>1) 主体工事がトンネル坑内作業のもの、工場製作、その他屋内作業と認められる工事</p> <p>2) 除雪、排雪、コンクリート防寒養生(ただし、コンクリート防寒囲い設置・撤去作業には適用する)、その他屋外作業であっても歩掛が冬期条件下で施工することが前提となっている工事</p> <p>3) 交通誘導警備員</p> <p>(2) 歩掛補正は、屋外労務作業に従事する作業員を対象に行うものとし、冬期の特殊現場条件に対し必要となるコンクリートの保温養生費、除排雪費等は、本補正とは別途に必要額を積算する。</p> <p>なお、機械作業についても、<u>運転手の労務費についてのみ補正するものとし、運転手の補正を考慮して作業効率(E)の調整は行わず、純粹な現場条件のみから(E)の決定をする。</u></p> <p>【省略】</p> <p>(8) ゼロ国債工事については契約後すぐに現場施工ができる場合で、11月1日から、3月31日までの期間が全工期日数の2分の1を超える屋外工事について歩掛補正の対象とする。</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>(9) 船舶における補正対象労務費は、休止分を除く。(休止分=供用係数-1)</p>	<p></p> <p>字句の改正</p> <p>字句の追加</p> <p>字句の追加</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>4 労務単価の補正フローについて 時間外、深夜作業又は特殊手当等を加算する場合の労務単価の補正による。</p> <p>The flowchart starts with '工事' (Work). It branches into '深夜作業か' (Night work?). If 'No', it goes to '冬期屋外工事か' (Winter outdoor work?). If 'No', it asks '時間的制約を受けるか' (Subject to time constraints?). If 'No', '基準日額' (Basic daily rate). If 'Yes', '受け取る' (Accept) leads to '基準日額 × 1.06', and '著しく受ける' (Significantly affected) leads to '基準日額 × 1.14 (注)'. If 'Yes' to '深夜作業か', it goes to '冬期屋外工事か'. If 'No', it asks '時間的制約を受けるか'. If 'No', '基準日額 × 表 1'. If 'Yes', '受け取る' leads to '基準日額 × 表 2', and '著しく受ける' leads to '基準日額 × 表 3 (注)'. If 'Yes' to '冬期屋外工事か', it asks '時間的制約を受けるか'. If 'No', '基準日額 × w'. If 'Yes', '受け取る' leads to '基準日額 × (w + 0.06)', and '著しく受ける' leads to '基準日額 × (w + 0.14) (注)'. If 'No' to '深夜作業か', it asks '実労働 8h 以内か' (Actual work within 8h?). If 'Yes', it goes to '割増対象調整比の算定' (Calculation of surcharge adjustment ratio). If 'No', it goes to '時間外を含む割増対象調整比の算定' (Calculation of surcharge adjustment ratio including overtime). If 'Yes' to '実労働 8h 以内か', it asks '冬期屋外工事か'. If 'No', '基準日額 × w'. If 'Yes', it asks '時間的制約を受けるか'. If 'No', '基準日額 × (w + 表 1)'. If 'Yes', '受け取る' leads to '基準日額 × (w + 表 2)', and '著しく受ける' leads to '基準日額 × (w + 表 3) (注)'. If 'No' to '実労働 8h 以内か', it goes to '時間外を含む割増対象調整比の算定'. If 'No', '基準日額 × w'. If 'Yes', '基準日額 × (w + 表 1)'.</p> <p>w : 労務費調整係数 (注) については、機械損料の補正が必要となる場合がある (2.4「機械損料の補正」) 【省略】</p>	<p>4 労務単価の補正フローについて 時間外、深夜作業又は特殊手当等を加算する場合の労務単価の補正による。</p> <p>The flowchart is identical in structure to the revised version but uses '割増対象調整比' (Surcharge adjustment ratio) instead of '労務費調整係数' (Labor cost adjustment coefficient). The flow is: '工事' → '深夜作業か' → '冬期屋外工事か' → '時間的制約を受けるか' → '基準日額' or '基準日額 × 1.06' or '基準日額 × 1.14 (注)'. If 'Yes' to '深夜作業か', it goes to '冬期屋外工事か' → '時間的制約を受けるか' → '基準日額 × 表 1' or '基準日額 × 表 2' or '基準日額 × 表 3 (注)'. If 'Yes' to '冬期屋外工事か', it asks '時間的制約を受けるか' → '基準日額 × w' or '基準日額 × (w + 0.06)' or '基準日額 × (w + 0.14) (注)'. If 'No' to '深夜作業か', it asks '実労働 8h 以内か'. If 'Yes', it goes to '割増対象調整比の算定' → '冬期屋外工事か' → '時間的制約を受けるか' → '基準日額 × (w + 表 1)' or '基準日額 × (w + 表 2)' or '基準日額 × (w + 表 3) (注)'. If 'No', it goes to '時間外を含む割増対象調整比の算定' → '冬期屋外工事か' → '基準日額 × w' or '基準日額 × (w + 表 1)'.</p> <p>w : 割増対象調整比 (注) については、機械損料の補正が必要となる場合がある (2.4「機械損料の補正」) 【省略】</p>	<p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>〔 C 共通工 〕</p> <p>C ~ 1300 コンクリートブロック積 (張) 工</p> <p>連節ブロック張の再利用を目的とする場合の撤去費について示されたい。</p> <p>連節ブロック張の再利用を目的とする場合の撤去費は、設置費の 50% とする。</p> <p>なお、連節ブロック張 (撤去) の積算方法についての条件区分及び単価の計上は次のとおりとする。</p> <p>条件区分 (1) ブロックの質量 : 「 150 kg / 個未満 」 「 150 kg / 個以上 」 で区分する</p> <p>(2) 連結方法 : 「 鉄筋又は鋼線 」 「 連結金具 」 で区分する</p> <p>(3) 遮水シート規格 : 不要</p> <p>(4) 吸出し防止材の有無 : 無し</p> <p>材料単価 (1) 連節ブロック : 撤去のため 0 円計上とする</p> <p>(2) 鉄筋コンクリート用棒鋼 : 撤去のため 0 円計上とする</p> <p>【省略】</p> <p>〔 E 管渠工 〕</p> <p>管水路土工の積算について示されたい。</p> <p>【省略】</p> <p>管水路の取り壊し撤去で、管類の切断加工歩掛を使用してよいか。</p> <p>使用できない。管類の切断加工歩掛は再使用する場合にのみ適用できる。</p> <p><u>ただし、掘削幅等の制限により既設管の取り壊し撤去ができない場合は使用できる。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>〔 C 共通工 〕</p> <p>C ~ 1300 コンクリートブロック積 (張) 工</p> <p>連節ブロック張の再利用を目的とする場合の撤去費について示されたい。</p> <p>連節ブロック張の再利用を目的とする場合の撤去費は、設置費の 50% とする。</p> <p>なお、連節ブロック張 (撤去) の積算方法についての条件区分及び単価の計上は次のとおりとする。</p> <p>条件区分 (1) ブロックの質量 : 「 150 kg / 個未満 」 「 150 kg / 個以上 」 で区分する</p> <p>(2) 遮水シート規格 : 不要</p> <p>(3) 吸出し防止材の有無 : 無し</p> <p>材料単価 (1) 連節ブロック : 撤去のため 0 円計上とする</p> <p>(2) 鉄筋コンクリート用棒鋼 : 撤去のため 0 円計上とする</p> <p>【省略】</p> <p>〔 E 管渠工 〕</p> <p>管水路土工の積算について示されたい。</p> <p>【省略】</p> <p>管水路の取り壊し撤去で、管類の切断加工歩掛を使用してよいか。</p> <p>使用できない。管類の切断加工歩掛は再使用する場合にのみ適用できる。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加 番号の改正 "</p> <p>字句の追加</p>